

# なますて



नमस्ते ※「なますて」とは… インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源とも言われています。

## 皇太子殿下をお迎えして

平成28年10月21日、皇太子殿下を(福)光林会が運営する「るんびにい美術館」にお迎え致しました。障害者スポーツ大会岩手大会の開会式に御列席のため来県されたもので、御視察のためお立ち寄りになられました。美術館の前では、夕方の少し肌寒い中、一般市民や保育園児200名を越えるお出迎えに、笑顔で手を振って応えておられました。

館内では、企画展「Created in IWATE」という岩手の6名の作家を紹介する展覧会をご覧いただきました。作品の前では『大変根気のいるお仕事ですね』とか『細かなところまで描いておられますね』と熱心にご覧になられました。

震災をテーマにした「3.11」の作品の前では、『みなさん大変な思いをされたのですね』とのお言葉をいただきました。宮澤賢治の童話にもお詳しいようで、「銀河鉄道の夜」をご覧になりながら、『これはジョバンニとカンパネルラですね』とじっくりご覧になっておられました。陶芸作品の前では、『赤松を焚くんですね、焼成温度はかなり高いですね』、『自然釉とマッチしていますね』とかなり関心をもってご覧になられました。

最後に「アートを通して障がいのある方々に親しみを感じていただければと思います」とお話すると、『大切なお仕事ですね。これからも頑張ってください！』とお励ましの言葉をいただきました。20分少々でしたが、終始笑顔で本当に熱心にご覧になっておられました。

上品で優しさが溢れるようなお人柄を感じる事が出来、感激もひとしお。緊張の中にも素晴らしい時間を頂けたことは有り難く、幸せな体験でした。



↑ 皇太子殿下と住職

# 総本山参拝の旅

この度、約十年ぶりに時宗総本山清浄光寺(遊行寺)への団体参拝旅行(団参)を行いました。

総代会にて計画し、企画・随行を檀家さんでもある佐々木尚敬さん(岩手教互センター)に依頼し、参加希望者を募ったところ約80名ほどの希望があり、来年と二カ年計画で実施する事となりました。今年は11月18日(金)～20日(日)の日程でしたが、間近になってキャンセルが続出(°ロ°)。最終的には33名の参加となりました。

初日は最高のお天気に恵まれ、朝8時に光林寺をバスで出発し約2時間おきにPAにてトイレ休憩。早速お土産を買う人もおりました。ガイドさんが地元黒沼の方ということもありとてもリラックスムードで楽しい旅となりました。

夕方5時前に神奈川県藤沢市の総本山に到着、早速第74代真円上人とのご対面し前住職との思い出話などお話し頂きました。その後記念撮影、宝物館見学後、夕食(精進料理)、新しくなった浴室で入浴。そして部屋では多少の般若湯で親交を深め、夜9時には消灯。

二日目は5時からお上人様も出座されての法座(お勤め)。みなさん心配していた正座、ではなく椅子席で安心のご様子(笑'▽')、。それぞれ先祖代々のご供養をしていただきました。この日は生憎の雨天でしたが、みなさん元気に8時には本山を出発。東京湾アクアラインを經由し房総半島方面へ。鋸山・日本寺・鴨川シーワールド等を見学し、黄金風呂で有名な鴨川ホテル三日月にて宿泊。本山の質素な食事とは打って変わって、食べきれないのでは! ?というほどの豪華な食事と飲み放題でみなさん大満足!!!

最終日はまた天気も回復、暑いほどの陽気となりました。鯛の浦で観光船に乗り、誕生寺参拝、紅葉の養老溪谷の散策を楽しみ、お土産も沢山買って帰路につきました。到着は予定より大分遅れて9時近くとなりお迎えの皆さまにはご迷惑をおかけ致しましたが、事故もなく全員元気に終わることが出来て本当によかったです。皆さん楽しかったと言って下さり何よりでした。ありがとうございました。来年以降も出来たら続けていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様のご参加をお待ちしております。詳しくはお寺まで(^o^)



↑朝のお勤め



↑真円上人から念仏札の御賦算



↑観光船上での一枚



↑鋸山・日本寺の大仏前にて

# 秋季開山忌

去る、11月23日、恒例の秋季開山忌が行われました。当日は肌寒い日でしたが、祝日と言うこともあってか、たくさんの方に参詣いただきました。一般参拝者は約200名程でした。

今回の塔前(当番)の照井稻三総代・玉山俊行総代(ともに好地地区)の組下総勢約100戸のご協力により無事開催することができました。

また当日は、朝から塔前の御婦人方総勢50名程の皆さんに約200食のおいしい食事の支度をさせていただきました。法要のお手伝いを頂いた県内の和尚様方にも「大変美味しい」と評判でした。本当にありがとうございました。

また、40名の御詠歌講員の皆さんが法要前に30分ほど御詠歌の奉詠をしていただきました。

御詠歌とは、先人が仏法(仏の教え)を歌や詩にし、それに節をつけお唱えするものです。光林寺では昭和24年から大和流の御詠歌を奉詠しております。まだお聞きでない方は、是非、一度お聞き、興味のある方はご参加いただきたいと思います。

これだけお檀家の皆様にご協力いただいて成り立っている開山忌は他には、まずありません。大変なご面倒をおかけしているとは思いますが、どうぞ、これからもご協力いただきますようよろしくお願い致します。



↑ 食事風景



↑ 塔前の皆さん、ご苦労様です。



↑ 御詠歌奉詠

## 平成29年春季開山忌のご案内



日時 平成29年4月23日(日)

午前 9時50分 御詠歌奉詠

午前11時00分 開山忌法要 終了後、ご法話

※次回の春季開山忌の塔前(当番)地区は

南寺林・桜渕・黒沼 地区 の皆様です。

ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 光林寺駐車場整備のお知らせ

この度、光林寺東門駐車場が整備されました。これまで、開山忌などの行事の時は駐車場が足りず、檀信徒の皆様には大変ご不便をお掛けしてきたかと思いますが今回の整備で多少は改善されるかと思えます。また、黒門駐車場には新たに駐車スペースのラインを引きましたのでご活用下さい。

今後も檀信徒の皆様がより参拝しやすい環境を整えていきたいと思えますので、ご要望がありましたらお寺までお知らせ下さい。

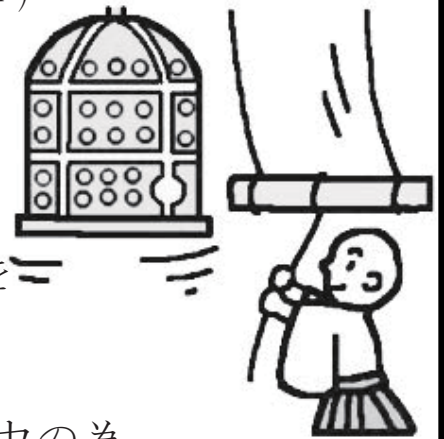


↑ 東門駐車場

## 除夜の鐘 & 元朝参り

光林寺では大晦日の23:55頃から0:30頃までにお参りいただいた皆様に除夜の鐘をついていただいています。例年、大変冷え込みますので、暖かくしてお参り下さい。なお、鐘突き参加の方には温かい飲み物を用意しております。どうぞ、ご参加下さい。

また、ご希望の方には御札(阿弥陀如来・熊野権現)を正面玄関にてお授けしております。(志納¥2~3,000)



※現在、光林寺東側の道路の道幅が拡幅工事中の為、大変狭くなっております。深夜にお越しの際は、特にお気を付け下さい。

## 編集後記

つい先日、風の強い日の午後。大きな音と共に境内南東にある檜葉の大木の枝(と言うにはあまりにも大きい…)が折れて落下し、その下にある白壁の塀の一部が破損してしまいました。人的被害が無かったのは幸いでしたが、自然の恐ろしさを実感させられました。

皆さんもお参りの際に目にすることがあると思いますが、鐘楼の近くに今回枝の折れた檜葉と杉の大木が在り、ともに樹齢700年(光林寺が出来た頃)と推定されています。二十年ほど前には大規模な養生工事するなどして保存に努めておりますが、徐々に老朽化しているように感じます。

これまで長きに渡り、光林寺を見守ってくれている二本の大木を大事にしていかなければ、と思っています。



↑ 傾いた塀(写真右下)